

## 目次

編集方針と報告範囲.....	P.1
2001年度の活動のハイライト.....	P.2
最高責任者の緒言.....	P.3
中長期ビジョンと推進体制.....	P.5
ゴールビジョンと環境中期計画.....	P.7
環境先進企業を目指して	
石油資源の有効活用.....	P.9
事業活動の環境負荷削減.....	P.10
使用時の環境負荷低減.....	P.11
総合エネルギー事業の展開.....	P.13
温暖化防止への取り組み.....	P.14
環境ビジネスの展開.....	P.15
環境保全活動	
2001年度の行動計画と実績.....	P.17
製油所のEMS及び安全活動結果.....	P.18
環境負荷の削減実績.....	P.19
環境会計.....	P.23
環境・社会パフォーマンス	
事業活動における環境負荷の認識.....	P.27
原油生産・原油輸送.....	P.29
製油所.....	P.31
物流.....	P.33
サービスステーション.....	P.34
オフィス.....	P.35
従業員に対する活動.....	P.36
お客様に対する活動.....	P.37
社会貢献活動.....	P.39
海外協力活動.....	P.41
広報活動.....	P.42
経済パフォーマンス	
会社概要と経済活動.....	P.43
サイト別データ	
千葉製油所.....	P.45
四日市製油所.....	P.46
堺製油所.....	P.47
坂出製油所.....	P.48
コスモ松山石油.....	P.49
中央研究所 / コスモ石油ルブリカンツ.....	P.50
環境保全活動のあゆみ.....	P.51
用語集.....	P.53
第三者審査報告書.....	P.54

\* 読者アンケート

## 編集方針

この報告書は、コスモ石油グループの2001年度(2001年4月1日～2002年3月31日)の環境保全・社会的責任活動に関する報告書です。当グループの活動を多面的にご判断いただけるよう、「GRIガイドライン<sup>\*</sup>」を参考に、環境、社会、経済のトリプルボトムラインに関する情報を盛り込み、全体を構成しています。当グループは、ライフサイクル全体で環境負荷の少ない石油製品を提供するとともに、石油の安定供給や事故の未然防止など、環境保全と社会的責任を重視した事業を行っています。当報告書では、「環境」「社会」の事例報告に関してはページを分けて、「環境・社会パフォーマンス」の項目でまとめて報告しています。また、事業の工程に従って体系的な情報開示を行うために、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。

通常環境保全活動はもとより、石油の有効利用や総合エネルギー技術の開発に取り組んでいることも、当グループの環境保全活動の特徴です。当報告書では、当グループの環境技術開発や新エネルギー事業についても重点的に触れています。

\*GRI(Global Reporting Initiative)ガイドラインは、環境報告書を包含した持続可能性報告書のガイドラインであり、環境、社会、経済のトリプルボトムラインを重視しています。

## 報告範囲

報告対象期間は、2001年度ですが、推進体制や事例などに関しては、一部2002年度の内容も含んでいます。

報告対象範囲は、コスモ石油グループです。グループの範囲については、44ページをご参照ください。「環境負荷の削減実績」の集計は、製油所を中心とした範囲を対象としています。「環境会計」及び「事業活動における環境負荷の認識」のデータは、前述の範囲に加え、中央研究所、コスモ松山石油 株 等を対象としています。